

平成25年7月25日発行

町民と議会を結ぶ広報誌

太子町議会だより

No
167

太子のまち

題字「大鷹 想児」



7月8日 野菜でお供えづくり(七夕会)
斑鳩幼稚園

新しい議会組織決まる

P2

税条例一部改正

P3

9人の一般質問

P4~8

スーパー○○さん!

P12



太子町議会だより
マスコットキャラクター
たいしん

5月
臨時会

5月臨時会にて決定した議会組織を紹介します。



中井政喜監査委員



井村淳子副議長



橋本恭子議長

総務常任委員会



井川芳昭 吉田日出夫 平田孝義
副委員長 委員長 森田眞一
福井輝昭 服部千秋

議会運営委員会



井川芳昭 井村淳子 中島貞次
佐野芳彦 委員長 副委員長
清原良典 平田孝義

経済建設常任委員会



堀 卓史 藤澤元之介 首藤佳隆
清原良典 委員長 副委員長
中藪清志 中島貞次

福祉文教常任委員会



中井政喜 井村淳子 福井輝昭
佐野芳彦 委員長 副委員長
森田眞一 首藤佳隆

広報広聴常任委員会



中藪清志 吉田日出夫
服部千秋 委員長 副委員長
堀 卓史 藤澤元之介

首藤 佳隆

☆民主化推進協議会理事

森田 眞一

☆社会福祉協議会評議員

中藪 清志

福井 輝昭

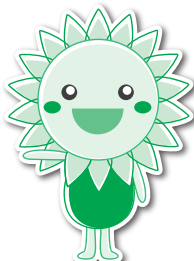
☆国民健康保険
運営協議会委員

中島 貞次

☆民生委員推薦会委員

藤澤 元之介

☆都市計画審議委員会委員



6月
定例会

こんなことが決まりました

6月定例会は、6月4日から17日までの会期で開き、下水道事業特別会計補正予算案など議案6件、請願1件、意見書案1件が提案され、原案どおり全て可決した。

すべての議案を原案どおり可決

議案第33号	平成25年度兵庫県太子町一般会計補正予算(第1号)	賛成多数
議案第34号	平成25年度兵庫県太子町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	全員賛成
議案第35号	太子町税条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成
議案第36号	太子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成
議案第37号	太子町福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成
議案第38号	兵庫県市町交通災害共済組合を組織する地方公共団体の数の減及び兵庫県市町交通災害共済組合規約の変更について	全員賛成
請願第4号	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2014年度政府予算に係る意見書採択の要請について	全員賛成
意見書案1号	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2014年度政府予算に係る意見書	全員賛成

問 前処理の汚泥を今の
ように乾燥処理せずに、
生汚泥の状態で濃度調整
し掛保川流域関連処理場
に搬送するための経費と、
供用開始から34年経過し
た前処理場の更新経費と
の比較検討するための委
託料である。

問 前処理場管理費の追
加、生汚泥搬送計画検討
委託の詳細説明を。

議案第34号に対する質疑

答 全て終わっている。

問 今回の補正の減額は、
国の緊急経済対策に伴う
投資関連事業の24年度前
倒した分が主と思うが、
これで全部終わったのか。
残っている事業はないか。

議案第33号に対する質疑

議案に対する
主な質疑と答弁

請願審査 全員賛成で可決

請願・陳情を
町政へ！

6月定例会で福祉文教委員会に付託された請願は、採択した。

件 名	請願者	紹介議員
少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための2014年度政府予算に係る意見書の採択要請について	兵庫県教職員組合 揖龍支部	藤澤元之介

国への
意見書

本会議で福祉文教委員会から提案された意見書(案)を全員賛成で可決し、内閣総理大臣・財務大臣・文部科学大臣・総務大臣へ意見書を送付した。

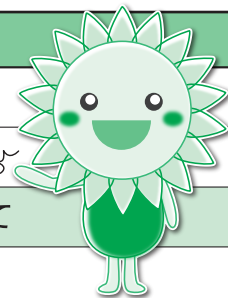
- ・少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。
- ・教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国負担割合を 2分の1に復元すること。





どないなつとん！？ どないするん？

質問者	質問したテーマ
藤澤元之介	◎ 国の地方公務員給与減額要請等への対応について ◎ 高年齢者雇用安定法の改正趣旨に沿った環境整備について
首藤 佳隆	◎ 学校教育について ◎ 石海南地区の現状と課題について
森田 眞一	◎ 新行政改革大綱（第5次）の内容について
吉田日出夫	◎ 新庁舎関連 ◎ 農業関連
服部 千秋	◎ 職員に社会常識を学ばせる社会体験の必要性 ◎ 先に行った体罰調査の結果と教員や保護者・生徒への学校の対応は
平田 孝義	◎ 自然エネルギー発電について ◎ 子ども医療費中学三年生まで完全無料化について ◎ 住宅リフォーム助成制度について ◎ 共通番号(マイナンバー)制度について
福井 輝昭	◎ 自治体の法曹有資格者の採用について
中島 貞次	◎ 小中学校の暑さ対策について ◎ 緊急医療情報について ◎ あすかホール活性化への取り組みについて ◎ 揖保川水系河川整備計画(案)について
井川 芳昭	◎ 太子町内の道路及び交通環境の安全管理と安全対策について



問 地方公務員給与削減で慎重対応を

答 住民理解も踏まえ、検討を重ねている



藤澤 元之介議員

藤澤 ① 国家公務員の給与と減額支給措置を理由とした

地方交付税の削減は、地方自治の本旨を逸脱したものであり、削減とならないよう予算・

予算関連法案等を国に修正するよう求めるのか。

② 地方公務員の給与は、該当労使交渉を踏まえ自治体が主体的に決めるべきものであり、地方自治の本旨を踏まえ、今後どう対応するのか。

町長 ① 総務大臣に今後、地方公務員給与のあり方について検討の場を設け十分協議を行うことを要請した。太子町としても全国町村会を通じ、地方の考えを主張していく。

② 地方交付税での職員給与の削減に対する住民理解を踏まえ、現在検討中であり、もし国の要請に応える場合、職員組合との団体交渉を経て、今定例会に条例改正案を追加提案する。会期中に判断

するが、検討を重ねたい。（今定例会では追加提案は出されなかった。）

藤澤 高年齢者雇用安定法の改正趣旨に沿った環境整備について、65歳までの定年延長や希望者全員の再雇用など、継続雇用制度が確保されるよう環境整備の考えはあるか。

町長 今年度中に例規を整備すると共に、その運用について整理する。無収入期間が発生しないよう公的年金の支給開始年齢に達するまで、希望者を再雇用するよう制度を確立していく。





首藤 佳隆議員

経済建設部長 平成29年度完成予定の柳池総合公園整備事業の完了とともに、J R網干駅西南地区の区画整理事業内の公園とあわせて検討したい。

首藤 石海南公園は地域の安全安心を確保するための公園であり、早急に検討してもらいたい。

問 本町の児童・生徒の学力は

答 全国及び県の平均を上回っている

首藤 全国学力学習状況調査の結果から、町内の子どものたちの学力についての現状は。

教育長 小6・中3とも全国及び兵庫県の平均正答率を上回っている。今後も、言語活動の充実に向け、書くことを重視した指導方法の工夫改善や読書活動の充実に取り組む。

石海南地区の現状と課題

首藤 石海南公園の現状と今後の方針を問う。

経済建設部長 平成29年度完成予定の柳池総合公園整備事業の完了とともに、J R網干駅西南地区の区画整理事業内の公園とあわせて検討したい。



石海地域の都市計画マスタープラン

首藤 J R陸橋を渡る不便さ大変さは、子どもだけでなく増加する高齢者にとっても重要な課題だ。これを踏まえ、J R総合車両区を避難場所に指定できないか。

総務部長 災害時には公共交通機関として早期復旧を図ることが最優先課題だ。避難場所をあらかじめ確保することは困難な状況だ。

問 今回(第5次)の行革はなぜ増税なのか

答 前回(第4次)からの継続検討項目である



森田 眞一議員

森田 今回の行革では、自主財源の確保として、平成28年度から固定資産税の超過課税や法人町民税の制限税率を適用する増税計画が主である。なぜこの時期に増税を計画しなければならないのか。

町長 前回の第4次でも法人町民税の制限税率適用、都市計画税の導入を検討項目としてあげていた。しかし、経済状況が非常に悪化していた時期であったことなどから、検討のまま推移してきた。今回の大綱計画でも引き続き取り組んでいこうとするものである。

森田 納税者の大半は固定資産税等の負担を大変重く感じている。町は、昨年11月の「まちづくりの集い」で庁舎を建てることによる財政面から、税を上げることとは無いと答弁している。この増税計画には庁舎建設が原因だと受け取る人が多いと思うがどうか。

副町長 町の財政計画を検討するなかで、前回は市街化区域のみに課税する都市計画税の導入を見送った。今回は都市計画区域全域で負担してもらう計画を上げている。導入にあたっては、経済情勢も十分考えなければならない。また、庁舎を建てたから増税になったというにならないように財政運営に努める。

行革





問 新庁舎の議場を別棟にする理由は

答 住民も利用可能で、災害や社会の変化に対応できる建物としたい



吉田 日出夫議員

総務部長 (1) ①議会ゾーンを住民に開かれた議会、住民も活用可能なゾーン、住民目線の近い位置にすることだ。災害や社会の変化に対応できる様考えている。

②低層2階建てで、地盤改良し直接基礎が可能。附帯コスト低減を図る。

③できる限り住民の意見を聞いてきた過程から別棟建築を誰も望んでいないとは感じない。

吉田 (1) 町民から新庁舎の議場はなぜ別棟なのかと多くの質問を受ける。

①別棟にするメリットは。

②コストは安くなるか。

③住民は別棟を望んでいるか。

(2) 当局は鶴田国道線沿いの雨水幹線工事は平成25年度中の工事完了予定と言ってきた。庁舎建設とあわせて進んでいるか。



新庁舎完成予想模型

経済建設部長 今後、制度を周知し、担い手の育成・確保に努めていく。

吉田 農地バンク制度の更なる活用が重要では。

農地バンクの活用を

経済建設部長 (2) 庁舎と周辺道路の実施設計を最終調整している。26年3月末に完成予定だ。歩車道を分離。歩行者の安全確保のため、現道路を北へ拡幅、幅員3メートルの歩道を整備するのに伴い雨水幹線を今より若干広くする。

問 太子西中の生徒指導は大丈夫か

答 地域の協力を得ながら解決したい



服部 千秋議員

服部 ①昨年度の教員による体罰調査の結果は。

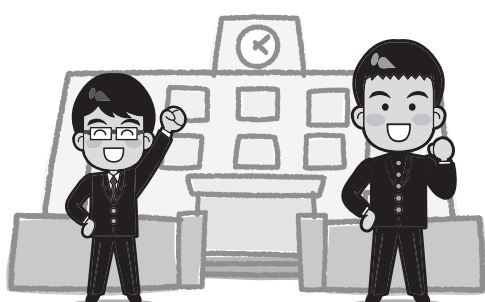
②生徒にビンタしたり、「ゴミだ」と言っている教員がいると聞かす事実か。

教育長 ①報告件数は同一教員による児童への体罰2件。今回起きてしまいい、直ちに指導した。

②議員の言われる事実は把握していない。

服部 体罰については、太子西中の生徒に対するものを保護者から聞いているが、報告はないか。また、保護者は、授業中に「アホがおるけど先進むぞ」など不適切な発言をすると言っているが、事実か。

教育長 そのようなことがあったならば、管理職や教師が対応し、保護者や生徒が納得したので私まで上がってきていないと理解している。授業中



服部 元西中教員からも、「西中はちょっと荒れとるやろ」と聞いた。教育長によくお願いしておく。

教育長 地域等で迷惑をかけており、校舎内で指導することから、地域の協力を得ながら解決していくと方針を展開しながら進めている。

服部 西中の今の状況は。生徒指導しづらい状況か。

に、アホ発言というようなことがあったわけだが、不適切な発言がないよう指導していく。